

# 沿岸重要漁業資源の管理に関する研究\*

## —マルアジ、マサバの標識放流調査—

武田 保幸

### 目的

200カイリ水域内漁業資源調査事業の指定魚種以外で、本県沿岸漁業にとって重要な魚種について、資源診断のための基礎資料を整備する。

当事業では従来からウルメイワシ、マルアジ、カツオ、サンマ、スルメイカ、田辺湾産小型エビ類等について生物調査を中心としたモニタリングを継続してきたが、今年度以降は比較的情報の少なかったマルアジ、マサバの移動回遊に関する知見を得るための調査を実施する。

### 方法

1994年6月に日高郡由良町衣奈浦漁港内でマルアジ1,974尾、マサバ1,991尾の標識放流を実施した（表1）。いずれも1歳魚主体で、一本釣（サビキ、通称チョクリ）によって釣獲されたものを2～3日蓄養したものである。標識の装着は港内のイカダ上で行い、その場で放流した。標識は「WK4」と印字した長さ35mmのアンカータグであった。再捕報告依頼は、図1の様式で太平洋岸の水産試験研究機関、県水産課、県内市町村、県内各漁協、遊漁団体あて送付した。

### 結果および考察

マルアジの再捕結果を表2、図2に示す。再捕率は1.7%で、6～8月、特に放流日から30日以内に再捕が集中していた。また、放流場所に近い湯浅湾での再捕がほとんどで、遠距離を移動したものは、3日後の6月21日に兵庫県三原郡南淡町福良湾で再捕された1尾と、7月13・20日に徳島県阿南市伊島近海で再捕された2尾のみであった。マサバについては全く再捕報告がなかった。

本年度の標識放流結果から、マルアジ1歳魚は産卵期の6～7月においても沿岸性が強く、大阪湾～播磨灘へ産卵回遊を行う2歳以上群とは回遊経路が異なることが示唆された。マサバについては放流後すぐに他の海域に移動している可能性もあり、今後の継続した調査が必要であろう。

表1 平成6年度の放流状況

魚種	放流年月日	放流場所	放流尾数	標識	尾叉長(cm)
マルアジ	1994.6.18	和歌山県日高郡由良町衣奈浦漁港内	1,974	アンカータグ(35mm) 黄色「WK4」	16～23 モード19
マサバ	1994.6.18	和歌山県日高郡由良町衣奈浦漁港内	1,991	アンカータグ(35mm) 白色「WK4」	26～32 モード30

\* 沿岸重要漁業資源管理研究事業費による。

## 標識魚再捕報告書

1. 再捕年月日
2. 魚種、魚体長（または体重）
3. 標識（標識を添付して下さい）
4. 再捕場所（略図、緯度・経度等を記入して下さい）
5. 再捕漁具・漁法（一本釣、まき網等）
6. 再捕者住所・氏名・電話番号、所属漁協

★ 放流点

送付先 〒649-35 和歌山県西牟婁郡串本町串本1551  
和歌山県水産試験場資源部  
TEL. 07356-2-0340  
FAX. 07356-2-3515

図1 再捕報告書の様式

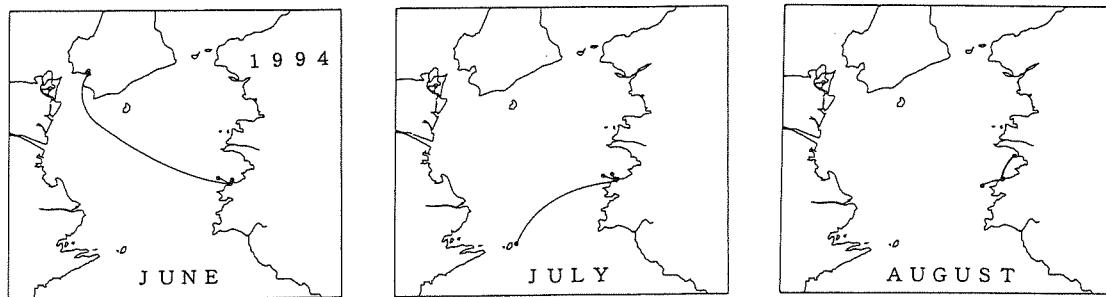


図2 1994年6～8月のマルアジの移動状況

マルアジ

表3 平成6年度の再捕結果

再捕年月日	経過日数	再捕場所	海域	漁法	尾叉長(cm)	尾数
1994.6.20	2	衣奈地先	湯浅湾	定置網	22	1
21	3	兵庫県福良湾の小割付近	紀伊水道北部	一本釣	22	1
25	7	衣奈沖黒島より北北西へ3km沖合	湯浅湾	一本釣	25	1
30	12	衣奈地先	湯浅湾	一本釣	21.5	2
7.1	13	黒島北部	湯浅湾	定置網	18	1
3	15	衣奈地先	湯浅湾	一本釣	20	1
4	16	衣奈地先	湯浅湾	一本釣	22	1
5	17	衣奈地先	湯浅湾	一本釣	15	2
5	17	カブトの沖	湯浅湾	一本釣	20	1
6	18	衣奈地先	湯浅湾	一本釣	17~18	1
8	20	衣奈地先	湯浅湾	一本釣	21.5	1
11	23	衣奈地先	湯浅湾	一本釣	18	1
12	24	衣奈地先	湯浅湾	一本釣	18~19	2
13	25	衣奈地先	湯浅湾	一本釣	20	3
13	25	徳島県伊島近海	紀伊水道外域	一本釣	20	1
14	26	黒島クスマ沖の政瀬	湯浅湾	一本釣	18	1
15	27	衣奈地先	湯浅湾	一本釣	20	2
16	28	黒島クスマ沖の政瀬	湯浅湾	一本釣	20	1
20	32	徳島県伊島近海	紀伊水道外域	一本釣	20	1
23	35	衣奈地先	湯浅湾	一本釣	16	1
25	37	カンドリ瀬	湯浅湾	一本釣	17	1
27	39	黒島南部	湯浅湾	一本釣	14	1
8.8	51	栖原沖	湯浅湾	一本釣(遊漁)	19	1
11	54	クスマ	湯浅湾	一本釣	17	1
12	55	衣奈湾内波戸	湯浅湾	一本釣	18~20	3
<hr/> 計						

33